

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
臨床医学総論Ⅳ	1年次	必修	講義	1 単位（30時間）	五十嵐 康之 ※
授 業 概 要					
血液成分の産生・機能、凝固止血機構の検査に必要な血小板、凝固・線溶系因子の産生と仕組みなど臨床に関連した医学的知識について理解する。 臨床に関連した血液疾患と凝固疾患の概要、所見と治療について学ぶ。					
到 達 目 標					
1）血液の概要、血液細胞の生体内での機能、造血臓器について解釈する。 2）血液疾患の成因、症状、病態、診断基準、治療について説明できる。 3）血小板系、凝固系、線溶系の止血機構について解釈する。 4）凝固疾患の成因、症状、病態、診断基準、治療について説明できる。					
実務経験のある教員					
五十嵐 康之：受託臨床検査施設及び病院での臨床経験を踏まえ、血液に関わる医学知識について解説する。					
回	学 習 内 容				担当教員
1	血液学概論(1) 血液の概要、血液成分と血球の種類				五十嵐 康之 ※
2	血液学概論(2) 血球の産生、分化、成熟、崩壊				〃
3	血液学概論(3) 血球（赤血球・白血球・血小板）の機能				〃
4	赤血球系疾患(1) 貧血（小球性・正球性貧血）				〃
5	赤血球系疾患(2) 貧血（大球性貧血）、赤血球増加症				〃
6	白血球系疾患(1) 白血球増加症・減少症				〃
7	白血球系疾患(2) 白血病（AML、ALL、CML、特殊な白血病）				〃
8	白血球系疾患(3) 多発性骨髄腫、悪性リンパ腫				〃
9	凝固止血機構概論(1) 出血と止血の仕組み、一次止血と二次止血				〃
10	凝固止血機構概論(2) 血小板の機能、凝固因子の種類、凝固機序				〃
11	凝固止血機構概論(3) 凝固制御機構、線溶機構				〃
12	血小板系疾患 血小板減少症、血小板機能異常症				〃
13	凝固系疾患 凝固因子異常症（血友病、VWD、ビタミン K 欠乏症）				〃
14	血栓性素因 DIC、TTP、抗リン脂質抗体症候群				〃
15	輸血 血液型、輸血製剤、合併症				〃
学 習 方 法					
臨床工学技士の業務に必要な不可欠な病態学についての総括となる。しっかりと理解すること。					
評 価 方 法					
学科試験により評価する。					
先 修 科 目					
教科書、参考書					
〔教科書〕 病気がみえる vol. 5 血液 土屋達行 他 MEDIC MEDIA 臨床工学技士標準テキスト 第4 版 小野哲章 他 金原出版 配布資料					